
津 南 町
地域公共交通網形成計画
概 要 版

令和2年3月



津 南 町



目的

本町の公共交通は、JR、路線バス等のほか、住民混乗のスクールバス、町有償運送と乗合タクシーを運行しています。本町では、町立小中学校統廃合が進んでおり、一方で、交通事業者による運行ダイヤの縮小や休止の意向が示されるなど、町内環境が大きく変化しています。また、依然として公共交通の利用が少ないこと、各種公共交通が重複している箇所があること、少子高齢化の進行に伴い、高齢者の免許証自主返納につなげるなどの町民ニーズへの対応などの課題があります。

これらの課題を解決するためには、それぞれの公共交通の役割分担等を明確にするとともに、町民ニーズや観光客ニーズに対応した最適でわかりやすい地域公共交通網をまちづくり施策と連携して構築することが必要となっています。

こうした町の公共交通の現状や諸課題、町民ニーズを的確に捉え、将来にわたり持続可能な地域公共交通体系を構築するため、「津南町地域公共交通網形成計画」を策定します。



▲津南駅



計画の区域

本計画の区域は、津南町全域とします。



計画期間

本計画は、津南町総合振興計画などの上位・関連計画と整合を図りながら策定する計画です。計画期間は、5年間（令和2年度～令和6年度）とします。ただし、社会情勢の変化などを踏まえ、必要に応じて見直しを行います。

津南町総合振興計画 後期基本計画(平成28年度～令和2年度の5年間)
次期津南町総合振興計画(令和3年度～令和7年度の5年間)



津南町地域公共交通網形成計画(令和2年度～令和6年度の5年間)

誰もが使いやすく 移動できるまち つなん
～各地域から拠点へアクセスできるネットワークの形成～

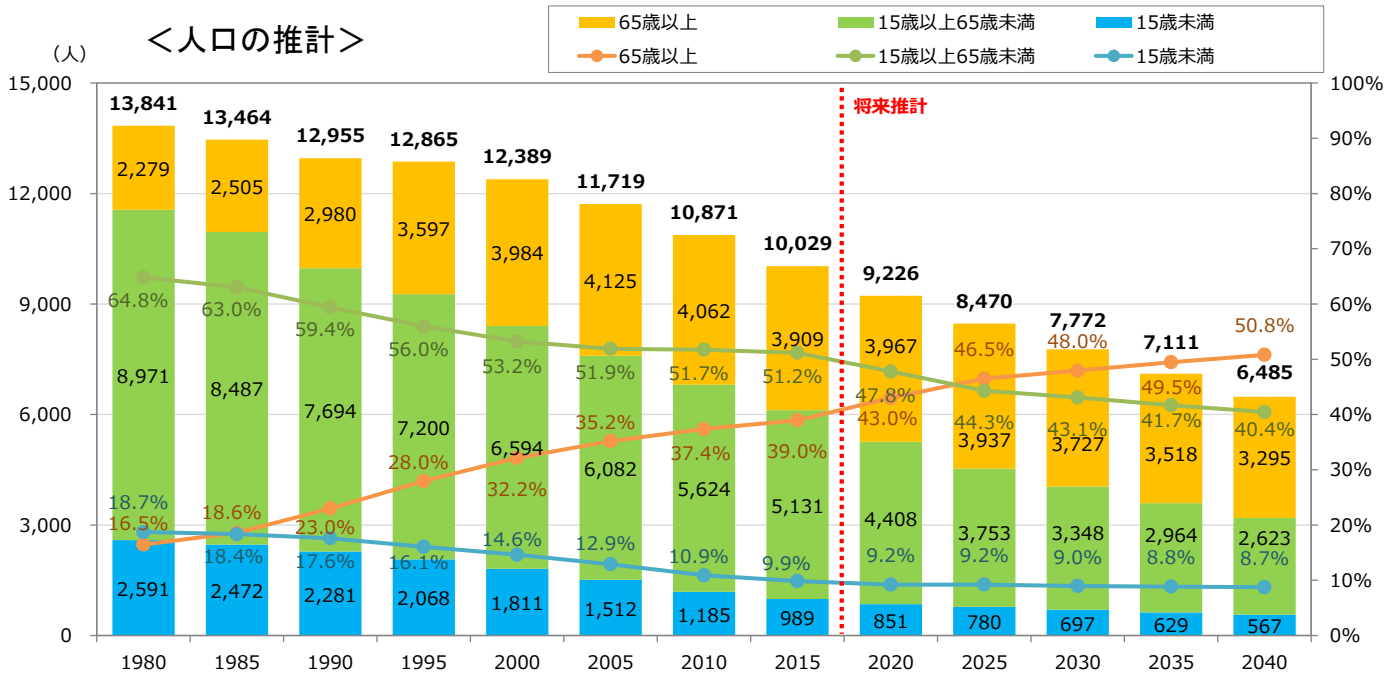


現状と課題

地域公共交通を取り巻く現状

- 令和22年には、現在の約10,000人から約6,500人にまで減少する見込み。
- 通勤では町内、通学、買物、通院では町内と十日町市への移動が多い。
- 高い自動車依存と低い公共交通利用状況。
- 高齢者人口に対する高齢者免許保有率は約33%、免許保有者は増加傾向。
- 鉄道、路線バス、住民混乗スクールバス、町有償運送、乗合タクシー等を運行。
- 地域公共交通を維持するため、現在、町では約7千万円の経費を支出。

<人口の推計>



資料: (1980~2015) 国勢調査、
 (2020~2040) 国立社会保障・人口問題研究所ホームページ
 「日本の地域別将来推計人口(平成30年3月推計)」

地域公共交通の課題

人口減少・少子高齢化に対応する持続可能な地域公共交通網の形成

地域特性に対応した地域公共交通網の形成

人の移動に対応した地域公共交通網の形成

効率的・効果的な地域公共交通網の形成

町民のニーズに対応した公共交通施策

観光振興との連携



基本方針

本計画の基本方針を次のように定めます。

誰もが使いやすく 移動できるまち つなん
～各地域から拠点へアクセスできる
ネットワークの形成～



目標

本計画の実現に向けた目標を次のように定めます。

基本目標 1 つなん型の地域公共交通ネットワークの構築

- 市街地、郊外地・中山間地といった地域により、公共交通への需要や主な目的地が異なるため、幹線軸と支線軸の観点から、地域特性に応じた運行サービスや運行形態を導入して、持続可能な地域公共交通網の構築を図ります。
- 路線バスと予約型乗合タクシーなど運行ルートが重複している区間等について効率化を図り、利用者が多い区間、居住者が多い区間、日常生活における生活交通として機能していない区間など、必要なところに充てていき利便性を高めます。

基本目標 2 利用しやすい環境整備による利用促進

- 津南町役場及び津南駅等の主要交通結節点における待合環境の改善や既存施設の有効活用により、利用者の利便性向上、バス待ち環境の改善を図っていきます。
- 町民だけでなく、観光客に対しても津南町の公共交通の運行情報の周知を図るため、公共交通マップ等による情報提供を行います。また、ICTを活用した、わかりやすい情報提供についても検討を行い、利便性の向上を図っていきます。

基本目標 3 多様な関係者の連携による公共交通の確保

- 小学生や高齢者等への公共交通の乗り方教室などを開催し、公共交通の現状を理解してもらうとともに、「クルマ時々バス」などの取り組みを展開していきます。
- 地域公共交通について、地域に説明を行い、ご理解をいただきながら、三者が協働して地域の実情に応じた公共交通を考えていくための取り組みを行います。



目標達成に向けた施策

基本目標 1 つなん型地域公共交通ネットワークの構築

施策

地域特性に応じた公共交通サービスの提供

①地域需要に応じたサービス水準と運行費用の管理

- ・鉄道、幹線路線バス、路線バス、予約型乗合タクシーが相互に補完し、地域から市街地への移動手段を確保します。小中学生等の通学手段は維持します。
- ・幹線路線バス、路線バス、予約型乗合タクシーの再編にあたっては、幹線軸と支線軸の考え方に基づき、各地域の公共交通に関する課題、需要、移動特性、その路線がもつ役割や経緯などを十分踏まえた上で、再編の方向性に沿って取り組みます。

②広域移動に対応した公共交通の維持

- ・津南町の移動特性として、通勤、通学、買物、通院において、津南町内だけでなく、十日町市間との移動が多く見られており、津南町と十日町市間は、JR飯山線と幹線路線バスが運行されています。
- ・来訪交流人口の拡大や商業の活性化に向けて、運行サービスの維持に努めます。



▲路線バスや予約型乗合タクシーの運行

観光地等への公共交通の確保

③観光地等への公共交通の確保

- ・生活交通機能としてだけでなく、国内外からの来訪者ニーズに応えるため、観光施策等と連携し、二次交通の確保などを検討します。
- ・観光地への公共交通の確保については、ICT等を活用して、将来的にはスマートフォンなどで予約できるようにすることなどを検討します。
- ・タクシーを有効活用した施策等を検討します。



【見玉公園】



【猿飛橋】



【龍ヶ窪の池】



【ひまわり畑】



目標達成に向けた施策

基本目標 2 利用しやすい環境整備による利用促進

施策

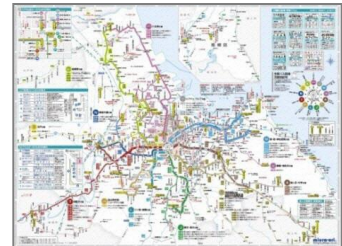
利用環境の改善

① バス停の上屋などの待合環境の整備

- ・主要交通結節点において、バス停の上屋整備やベンチの設置など待合環境の改善に努めます。
- ・コンビニエンスストアのイートインコーナーをバスの待合スペースとして活用するなど、待合環境の向上に向けて、商業事業者と協議を進めます。
- ・利用者目線で、誰もが迷うことなく気軽に利用できるように、JR津南駅や津南町役場等の主要交通結節点において、行き先や乗継等の案内表示サインの充実を図ります。



▲商業施設と連携した待合スペース
(神奈川県横浜市)



▲総合的な交通マップイメージ
(青森県八戸市)

情報提供の充実

② 利用しやすい時刻表の配布

- ・利用者目線でわかりやすいバスマップ時刻表やポケット時刻表を作成し、全世帯や新規転入者へ配布するとともに、町内主要施設に配架することにより情報提供の充実を図ります。

③ ICTを活用した情報提供の充実

- ・最寄りのバス停案内や目的地までの経路検索など、スマートフォンやタブレット等を通じた、運行情報サービスの提供を検討します。



▲ポケット時刻表
(静岡県藤枝市)

公共交通の利用促進

④ 高齢者等に対するサービス

- ・運転免許証自主返納支援制度の実施を検討します。免許返納後の生活をサポートする体制を整えることにより、自動車を運転しない生活への安心感を高め、運転免許証の自主返納及び公共交通利用への転換につなげていきます。
- ・高齢者や障がい者が利用しやすい環境を整備するため、豪雪地帯、山間地である津南町の地域特性を考慮しつつ、可能な範囲での車両更新や待合所環境整備などバリアフリー化対応について検討・調整していきます。

⑤ 観光等と連携した利用促進

- ・商業・観光などの多様な関係者と連携し、バス利用と観光地や商業施設等の活用を兼ねたイベント等を検討します。



目標達成に向けた施策

基本目標 3 多様な関係者との連携による公共交通の確保

施策

公共交通への町民参画推進

①公共交通利用に向けた意識啓発

- ・高齢者や小学生を対象とした、バスの乗り方教室や出前講座を実施し、公共交通への利用促進及び意識啓発を図ります。
- ・広報誌やイベント時等に公共交通の現状の紹介し、町民の意識啓発を図ります。



▲バスの乗り方教室
(茨城県日立市・茨城交通)

▲出前講座
(静岡県藤枝市)

公共交通に関する地域体制づくり

②地域の関係者との協議

- ・地域の実情に応じた路線の確保や利用促進をはかるため、町民の公共交通の取り組みへの参画を促します。また、運行に関する情報（運行経費、運行形態、法的な情報・手続き方法、先進地域における取組事例等）を提供していきます。

③地域の公共交通キーパーソンの発掘・育成

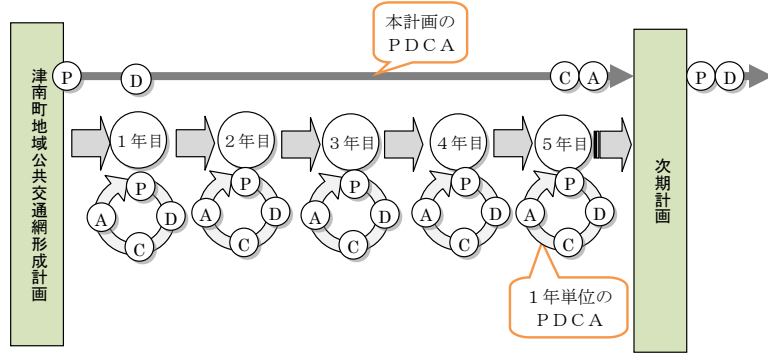
- ・地域に積極的に入り、地域や自治会等に対して、地域公共交通の現状や再編に向けた取り組みに関するご説明や意見交換会等を行います。地域、交通事業者、行政との協働の必要性についてご理解いただき、地域と協議しながら、地域を先導する公共交通キーパーソンとなる人材の発掘、育成を進めていきます。



推進体制

津南町の地域公共交通に係る協議会において、毎年、取り組みの実施状況の確認、効果検証や取り組み改善案などについて協議を継続的に行います。

また、計画期間における社会情勢の変化を把握しながら、見直しが必要な場合は、上位関連計画などの方針と整合性を図りつつ、計画の改定を行っていきます。



評価指標

計画期間に達成すべき評価指標を次のとおり設定しました。

基本目標	評価指標	現状値	目標値 (令和6年度)
【基本目標1】 つなん型の地域公共交通ネットワークの構築	【指標①】 公共交通の収支率の維持・向上	路線バス（十日町～津南線） 85.7% 路線バス（十日町～津南線以外） 28.5% スクールバス・予約型乗合タクシー 16.3%	85.7%以上 28.5%以上 16.3%以上
【基本目標2】 利用しやすい環境整備による利用促進	【指標②】 公共交通の利用率の向上	15.9%	20.5%以上
	【指標③】 公共交通の利用者数の維持	路線バス（十日町～津南線） 142,766人 路線バス（十日町～津南線以外） 67,317人 スクールバス・予約型乗合タクシー 5,031人	142,000人以上 67,000人以上 5,000人以上
【基本目標3】 多様な関係者の連携による公共交通の構築	【指標④】 利用促進事業の新規施策の実施	—	2回以上／年

発行：津南町地域公共交通協議会（事務局：津南町総務課）
〒949-8292 新潟県中魚沼郡津南町大字下船渡戊585番地
TEL：025-765-3112 FAX：025-765-4625
HP：https://www.town.tsunan.niigata.jp/